

※文字の大きさは Meiryō UI / 12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせた作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 111

エントリー学校名：新潟県 上越市立明治小学校

活動名：主タイトル 小規模校の強みを生かす 副タイトル 「つなぐ」をテーマに学校改善

解決すべき課題：

本校では、小規模校の良さを生かした行き届いた教育が行われている一方で、教育活動の形骸化や、児童のコミュニケーション面での課題がある。「従来通り」に甘んじず、教育目標や様々な教育活動の現状に職員全員で向き合い、共通認識のもと自分たちの学校づくりを自分たちの力で進めていく必要がある。「つなぐ」「主体性」「協働性」をキーワードに、より活力ある学校づくりに向けた職員集団の育成と、地域と連携し地域の材を生かしたカリキュラムの作成に重点を置き、学校改善に取り組む。また、昨年度からスタートした区小中一貫教育を保育園まで広げ、「12年間にわたるくびき一貫教育」の実現に向けた保小連携体制づくりにも取り組む。

目標・方針：

- ①校長の指導の下、教育課題の検討と教育目標の設定、ランドデザインの作成を全職員で行う。
- ②地域の材を生かす生活科・総合的な学習の時間を中核に据えたカリキュラムを検討・作成し実践する。
- ③「12年間にわたるくびき一貫教育」の実現に向け、区内の保小連携体制を組織し、取組をスタートする。
- ④職員と子どもが主体的・協働的に取り組む教育活動の実現に向けた教頭の役割を考察する。

活動内容：

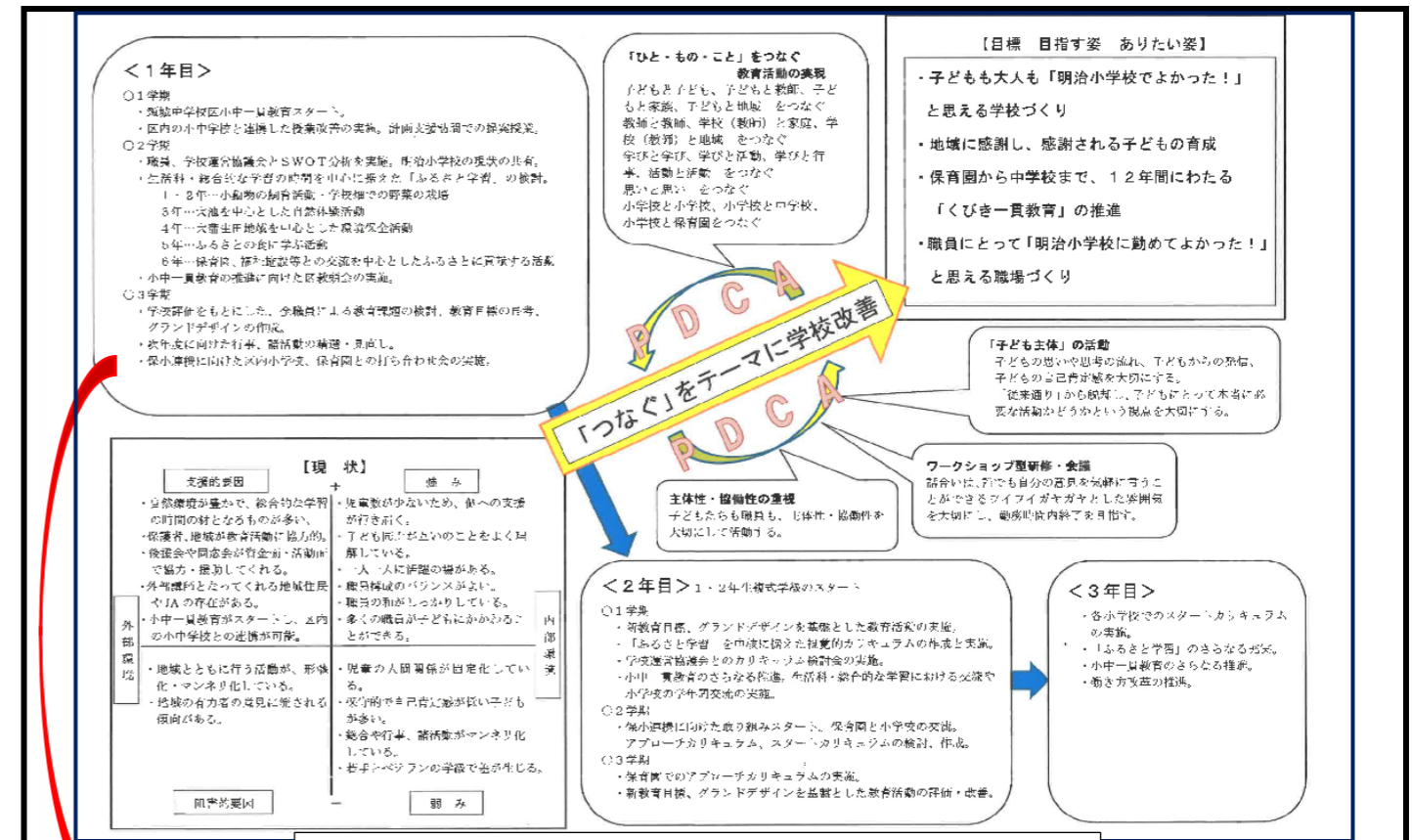
- ①全職員・学校運営協議会による SWOT 分析の実施と教育目標の検討⇒学校経営ビジョンの共有
- ②地域の材を生かす生活科・総合的な学習の時間を中核に据えた各学年の活動の検討と継続的な取組
- ③1・2年複式学級のスタートに伴う児童数・職員数の減少を考慮した学校行事・活動の精選・見直し
- ④区内保小連携に向けた明治保育園との先行実践並びにアンケートの実施、区共通のリーフレットの作成
- ⑤「つなぐ」「主体性」「協働性」の3つのキーワードの実現に向けた教頭の役割の検討

活動の成果：

- ①職員による SWOT 分析では、「みんなで学校の現状について考えることを通し、当校の良さや課題が見えた」という声が聞かれた。外部環境については、学校運営協議会でも熟議した。少人数でのプロジェクト会議を繰り返し、全職員の総意のもと新教育目標やランドデザインを作成し、学校経営ビジョンを共有した。
- ②「ふるさと学習」について、昨年度の実践の成果と課題をもとに今年度の素案を作成し、実践を進めている。
- ③複式学級の教育課程、行事や活動の精選について、繰り返し職員で話し合い、順調にスタートした。新型コロナウイルス対応とも合わせ、学校の今後に向け、地域や保護者の意見も取り入れ精選・見直しを図った。
- ④保小連携の先行実践では、計12回の交流を行った。小学校訪問の機会を増やすことは、年長児の小学校入学への不安軽減につながり、職員同士の顔の見える関係づくりと互いの教育観の理解につながった。区内の保小連携に向け、アンケートを実施し、互いの意識の共有とリーフレット作成に向けた準備を整えた。

アピールポイント (アイデアや工夫)：

- ・話し合いは少人数で比較的自由に意見を交わせる雰囲気を作った。若手の職員が自身の思いや意見を出し、学校経営に参画できるようにした。
- ・教育目標を一新し、現状・実態に合った目標となった。ランドデザインは見やすさを第一とし、教育目標の具現化を目指す活動を具体的にするとともに、学校評価に反映しやすとした。
- ・市内で小中連携の取組は多いが、保小中連携の取組は少ない。



「つなぐ」をテーマに学校改善の実現に向けたイメージ図

全職員参加によるランドデザインの作成

全職員+学校運営協議会委員によるSWOT分析表

プロジェクト会議での新教育目標・ランドデザインの話し合い

新・ランドデザイン

区内保小連携に向けた先行実践

明治保育園との意見交換会

明治保育園児が参加した活動

- ・花壇の花苗植え (6月)
- ・合同避難訓練 (6月)
- ・文化祭に招待 (10月)
- ・花壇の球根植え (11月)
- ・児童会行事に招待 (1月)
- ・マジックショーに招待 (2月)
- ・体験授業 (2月)